

授業科目 加齢と身体

【担当教員名】 小林 量作、佐藤 成登志、 古西 勇、松本 香好美、 椿 淳裕	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

【一般目標：GI0】
人間の体は、加齢に伴い様々な身体機能が変化する。特に骨、関節、筋肉、神経などの運動器、肺などの呼吸器、心臓、血管などの循環器は、日常生活の活動性を維持するために重要な身体器官である。このような身体器官がどのような経過をたどって変化するか、そのことが健康増進、リハビリテーション、介護が必要となる要因にどのように影響するか考える講座とする。

【行動目標：SBO】

1. 高齢社会と課題についての知識を習得する。
2. 加齢と心身機能の変化についての知識を習得する。
3. 加齢と運動器の変化について知識を習得する。
4. 加齢と呼吸器の変化について知識を習得する。
5. 加齢と循環器の変化について知識を習得する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢社会が担う課題 ー特に健康問題＝	1	講義、担当：小林 量作
2	加齢に伴う心身機能の変化とリハビリテーション・健康増進	2	講義、担当：小林 量作
3	加齢に伴う運動器の変化とリハビリテーション・健康増進（運動器慢性疼痛、肩痛）	2,3	講義、担当：佐藤 成登志
4	加齢に伴う運動器の変化とリハビリテーション・健康増進（主に腰痛）	2,3	講義、担当：佐藤 成登志
5	加齢に伴う運動器の変化とリハビリテーション・健康増進（主に下肢痛）	2,3	講義、担当：古西 勇
6	加齢に伴う呼吸器の変化とリハビリテーション・健康増進	2,4	講義、担当：松本 香好美
7	加齢に伴う循環器の変化とリハビリテーション・健康増進	2,5	講義、担当：椿 淳裕
8	事例・まとめ	1, 2, 3, 4, 5	講義、担当：小林 量作

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	学習課題に応じて資料を配付する			

【評価方法】 出席を評点する。 期末試験を実施する。	【履修上の留意点】
----------------------------------	-----------